

生徒会スローガン「一生懸命が、かっこいい!」くわでいっさー=モモタマナ(樹木)

中 城 中 学校だより



令和3年(2021年)10月26日発行 発行者 安田智 電話 098-895-3271

3年生保護者対象。高校入試明明会を実施 ※県立高校入試の制度や手続きなど ※

中学3年生にとって受検という大きな壁を乗り越え、次のステージに進むため 現在、中学3年生は受検生として日頃の授業を真剣に受けています。また、進路指導の一環として各高校の体験入学等に参加しているところです。そして、10月19日に本校体育館で、3年生の保護者対象に今年度の高校入試説明会を開催しました。今年は、コロナ感染予防対策として、生徒同伴はやめて5クラスを2つに分け前半を1組~3組、後半を4組5組の保護者のみの参加としました。

安田智校長のあいさつでは「コロナ禍でも本校の3年生は、学習面や部活動面と素晴らしい成果を収めています。全国学力テストでは、国語・数学とも県平均を上回り、部活動でも県大会や九州大会で活躍しました。いろんな活動を通して大きく成長している3年生です。受検生として自覚を持って学校生活を送り、自己実現に向け日々励んでいます。受検本番に向け、先生方と保護者の皆さんと一緒に、お子さんの自己実現のために支えていきましょう」と述べていました。

高校入試説明については、進路指導担当の仲地香織先生が、

①県立高校の学区と定員 ②県立高校入試のしくみ ③県立高校入試の日程や願書提出期日 ④進路選択に向けての留意 点 について説明してもらいました。 3年生の皆さん、現時点で進路選択が未決定で迷っている人が多いかと思いますが、11月からは推薦制度の取り組みが始まりますので、高校の情報を収集し、親と相談しながら進路先を決定していってください。1・2年生の皆さんは、まだまだ進路選択は先で良いと思っている人が大多数かと思いますが、早めに自分が気になる志望校をインターネットや先輩たちから情報を集めておくと3年生になったときに余裕をもって受検に臨められるかと思います。また、推薦入試制度を有利にするために



↑ 高校入試について説明する 進路担当の仲地香織先生



2021-10-26 No22-2

10月22日、校内研修の一環として、中部徳洲会病院に勤める看護師長の曽根史郎さんを講師としてお招きし地域連携室にて実施しました。いつ何時、校内等で 心拍が休止する事故が起こりうる可能性はあります。例えば、体育の授業での持久走や部

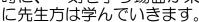


↑先生方6人一斉に、リズムよく胸骨圧迫を体験しているところ

活動でボールが胸にあたったり、来 校者による突然倒れてしまったりす るなど学校内でも発生する可能性は ゼロではないのです。そのため、毎 年、先生方は**1次救命救急について** 学んでいます。今年は、コロナ感染 予防として全職員一斉で集まっての 対面式ではなく、地域連携室に、 〇名程度が参加し、その他の先生方 はその様子をビデオカメラの動画を リモートで、普通教室の電子黒板に 映し出して研修に参加してもらいま した。

曽根さんからは「生徒が心肺停止になってしまったら、慌てず大声で助けを呼び、救急

車を呼ぶ、AEDを持ってくることを支持し、すぐに胸骨圧 迫を始めるように」と動画を交えて説明してくれました。説 明のあと、ダミー人形を使って**胸骨圧迫**を音楽のリズムに合 わせて、毎分100~120回の早さで胸骨圧迫の体験をし ました。また、AEDの装着のしかたについては、装置に音 声による指示がでるので、手順よく操作できました。AED の装置が学校のどこに配置されているか(本校は、職員室と 体育館の2カ所に設置)、日頃から確認しなければならないと 思いました。さらに、**アレルギー症状によるアナフィラキシ ーショックに対する処置**についても分かりやすく説明しても らいました。本校にもエピペンを所有する生徒がいますので、 先生方も確実に理解しておかなければならない内容でした。 エピペンの使用法についても練習用を使って、太ももに針を 打ち込む(針はナシ)体験をしました。次年度もいざという 時に、一刻を争う場面が来ても、1次救命処置が出来るよう





A E D 員室と体育 し装置を設置を設置と体育館が



曽根さんがエピペン練習用で、 足の太ももに打ち付けているところ

